

## 山都町社会福祉協議会が全国社会福祉協議会会長表彰を受賞

11月11日、東京都港区のメルパルクホールで平成28年度全国社会福祉大会が行われ、山都町社会福祉協議会が全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

この表彰は、多年にわたり社会福祉・ボランティアの各分野の発展に功労された方及び団体へ贈られるものです。

山都町社会福祉協議会は、「向こう三軒両隣」しあわせ笑顔の山都町を合言葉に地域の人たちが笑顔で暮らせる福祉環境を目指し、「支え合いの仕組みづくり」に取り組まれています。

本年4月の熊本地震においては、震災から約1週間後の4月21日には山都町災害ボランティアセンターを開設し、被災をされた方々の片付けや清掃のご依頼にボランティアを派遣し、迅速な対応をとるなど、被災者の最も身近な存在として支援活動をされました。

また、本町も被災した中で特に被災の大きかった近隣市町村へ出向くボランティア団体の宿泊・拠点施設の準備なども行われ、本町だけではなく他市町村に向けても様々な活動を行われてきました。

現在でも年間数回の山都町災害ボランティアセンター設置訓練、ボランティアサポーターの養成講座を開催されています。



菊池事務局長（左）、甲斐会長（中央）

## 清和文楽の里協会が西日本文化賞受賞

11月3日、福岡市の天神スカイホールで第75回西日本文化賞の贈呈式が行われ、社会文化部門において、清和文楽の里協会が受賞されました。

清和文楽の里協会は、江戸時代末期から続く人形浄瑠璃を継承し、本町の地域振興に貢献をしてきたことが高く評価され、今回の受賞となりました。

「復旧・復興で頑張っている熊本のみなさんにも清和文楽を楽しんでもらえるよういっそう精進したい」と鈴木理事長は話されました。



鈴木理事長（前列右端）、推薦者の熊本県立劇場本田事務長（後列右端）

現在では年間約200回の公演をし、県内外への積極的な公演活動や伝統の継承へ後継者の育成にも力を入れてこられました。上演するメンバーは13名で、そのほとんどの方が農作業の合間の時間を使い上演されています。

熊本地震後は観客が激減し、特別公演もキャンセルが続いた中、さまざまな支援の輪が広がり、最近では長野県飯田市で開催された「人形芝居フェスティバル」の出演をはじめ、九州各地で積極的に上演活動がされています。

## 山都町表彰

11月10日、町では、本町の町政の発展及び町民の福祉の増進に寄与し、その功績が顕著で、町民の模範となる方に対し、これまでの功績をたたえるために、表彰を行いました。



### 橋本 早苗さん(前列左)

昭和58年より矢部町青少年健全育成町民会議のメンバーとして、有害図書の摘発や、非行防止のための町内見回り、子どもへの声かけ等、青少年を様々な悪影響から守る運動や活動を積極的に行われてきました。

平成3年に会長に就任された後も鋭意活動を続けられ、平成12年には、その功績が認められ、旧矢部町において町表彰を受けられたところですが、その後の町村合併を経て本年まで会長を務められ、その間、平成26年4月山都町青少年健全育成町民会議の設立にご尽力いただきました。

### 北野 讓さん(前列右)

昭和57年4月地元地域の町体育指導員として、昭和62年から本年7月まで町体育協会の事務局長として、長年に渡りスポーツ推進の要となる要職を務めてこられました。

本町のスポーツ振興に当たり、各種大会における支援はもとより、人材発掘にも努められ、また、「町民皆スポーツを」のスローガンの下に行う町民スポーツ大会では、全支部体協の参加を促していただき、多くの町民がスポーツに触れる機会の提供にご尽力いただきました。